

令和3年3月定例会

市議会だより



▲令和3年3月27日に行われた「道の駅 東陽」の開駅式

令和3年3月定例会会期日程

- 3月 1日(月) 本会議／開会
- 3月 9日(火) } 本会議／質疑・一般質問
- 10日(水) }
- 11日(木) 経済企業委員会
文教福祉委員会
- 15日(月) 建設環境委員会
総務委員会
- 19日(金) 本会議／討論・採決

目次

- 予算／条例制定・改正 …………… 2～5
- 質疑・一般質問 …………… 6～9
- 委員長報告 …………… 9～10
- 採決結果 …………… 11
- 編集後記 …………… 12

編集・文責／八代市議会広報委員会

3月定例会は、3月1日から3月19日まで開催され、条例議案24件、予算議案19件、その他10件を審議しました。主な議案は、次のとおりです。

条例制定・改正など

(主なものを抜粋して掲載)

八代市民俗伝統芸能伝承館 条例の制定について

可決

八代妙見祭をはじめとする市内各所の無形民俗文化財等の保存継承と情報発信を図り、郷土の文化や伝統に関する市民の知識と理解を深め、これらを有効に活用することにより地域の活性化に寄与するため、民俗伝統芸能伝承館を設置するに当たり、所要の条例を制定するもの。

(令和3年4月1日施行)

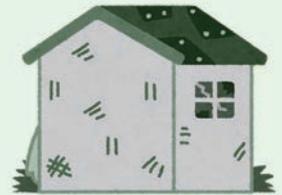
八代市空家等の適正な 管理に関する条例の制定 について

可決

空家等対策の推進に関する特別措置法（以下「空家法」という）に基づき、空家等の所有者等における適切な管理の促進及び本市における空家等に関する施策を推進するため、所要の条例を制定するもの。

(令和3年4月1日施行)

※空家法に定めるもののほか、空家等に関する対策の推進に関し必要な事項（所有者等の責務、市の責務、市民等の役割、緊急安全措置、空家等対策協議会の設置など）を定める。



八代市コミュニティセンター 条例の一部改正について

可決

令和2年7月豪雨により坂本コミュニティセンターが被災し、応急措置として、その機能を坂本地域福祉センター内に移したことに伴い、その位置の表記を変更するもの。

(令和3年4月1日施行)

八代市日本遺産活用推進基金条例の制定について

可決

ふるさと納税制度による寄附金等を日本遺産活用推進事業及び日本遺産に関連する文化財保護・活用事業の財源に充てるため、基金を設置するに当たり、所要の条例を制定するもの。

(公布の日施行)

※日本遺産：「八代を創造した石工^{たがや}たちの軌跡～石工の郷に息づく石造りのレガシー～」

財産の貸付けについて

可決

財産を減額して貸し付けることについて、地方自治法第96条第1項第6号の規定により議会の議決を求めるもの。

- ◆建物の所在地：八代市松江城町1番25号
- ◆貸し付ける場所及び床面積：八代市役所本庁舎建物1階の一部（90.30㎡）
- ◆相手方：株式会社エフエムやつしろ
- ◆貸付期間：八代市役所本庁舎の供用開始の日から令和13年3月31日
- ◆貸付料：月額66,325円に消費税及び地方消費税の額を加えた額

予算

令和3年度当初予算

一般会計

671億600万円

(主な新規事業を抜粋して掲載)

デジタル化推進事業

745万円

可決

デジタル技術を活用し、地域課題の解決や行政サービスの効率化・高度化、坂本地区の復旧・復興等を推進するもの。

農家の自力復旧支援事業

(豪雨災害)

400万円

可決

令和2年7月豪雨により被災した農地を農家自ら復旧する経費の一部を補助するもの。

◆補助上限20万円×20箇所分

復興推進事業

2,277万1千円

可決

令和2年7月豪雨により被災した坂本町の復興に向け、まちづくりの方向性を示す復興計画等を策定するもの。

＜内訳＞

- ◆坂本町復興まちづくり計画策定業務委託 1,070万円
- ◆災害公営住宅基本計画策定業務委託 1,130万円 など

第68回九州総合バドミントン選手権大会開催事業

92万9千円

可決

九州のトップレベルの高校生や大学生、社会人が参加し、全日本選手権の代表をかけた大会が八代市において開催されることから、九州総合バドミントン選手権大会八代市実行委員会に負担金を支出するもの。

仮施設整備支援事業(豪雨災害)

1億5,954万4千円

可決

令和2年7月豪雨により被災した坂本町において、道の駅坂本の敷地内に仮設商店街を整備するもの。

【内訳】

- ◆坂本町仮設店舗リース料 1億5,824万5千円
- ◆看板設置委託 70万4千円 など

地域おこし協力隊事業

467万8千円

可決

令和2年7月豪雨により被災した坂本町のまちづくりに地域全体で取り組む活動を支援・サポートするため、地域おこし協力隊2名を募集・任用し、産業・観光の開発、情報発信などの地域協力活動を行うもの。

職員派遣事業(豪雨災害)

3,059万3千円

可決

復旧事業に従事するため、熊本市等から技術職員の中長期的な人的支援を受け入れるもの。※4名分を予定

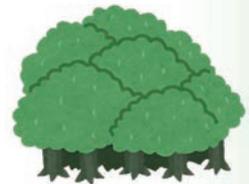
- ◆住宅借上料 251万7千円
- ◆人件費負担金 2,765万1千円 など

八代市森林環境譲与税基金事業

884万8千円

可決

森林環境譲与税の一部を今後の森林の整備促進に関する施策の財源として活用できるよう、基金への積み立てを行うもの。



球磨川リバイバルトレイル大会開催事業

50万円

可決

全国に球磨川・川辺川周辺の自然の素晴らしさを伝え、令和2年7月豪雨からの復興を支援するために行われる同大会の実行委員会への負担金を支出するもの。

◆実行委員会負担金 50万円 ※令和3年5月29日開催予定



令和2年度1月～2月補正予算（専決分）

一般会計

9億5,610万円

（主な事業を抜粋して掲載）

八代市飲食店等緊急特別支援事業

1億8,000万円



（財源：地方創生臨時交付金）

新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食店等では、年末年始の売上が大きく減少するなど未曾有の影響を受けている。そのため、飲食店等の事業の継続・安定を迅速に支援するため、「八代市飲食店等緊急特別支援金」を支給する経費について補正するもの。

- ◆補助件数：30万円×600事業所
- ◆申請期間：令和3年1月25日～令和3年3月15日
- ◆対象：売上減少率が30%以上の法人・個人



新型コロナウイルスワクチン接種事業

6億7,000万円



（国の第3次補正予算分）

住民に対して新型コロナウイルスワクチンの迅速かつ円滑な接種を実施するため、接種費用に要する経費について補正するもの。

- ◆接種見込数：87,970人 ※全市民を対象に接種率を乗じて見込んだ人数
- ◆職員等経費(会計年度任用職員)・・・・・・・・・・2,504万8千円
- ◆医師等報償費(集団接種)・・・・・・・・・・1億3,860万円
- ◆事務用品・医療材料費・印刷製本費等・・・・・・・・1,635万3千円
- ◆郵便料・電話料等通信運搬費・・・・・・・・・・2,126万9千円
- ◆ワクチン接種業務等委託料・・・・・・・・・・4億1,841万6千円



八代市飲食店等緊急特別支援事業

1億500万円



（財源：地方創生臨時交付金）

年末年始の売上が大きく減少するなど未曾有の影響を受けている飲食店、宿泊業等と同様に、売上が大きく減少している飲食料品小売業等の関連事業者に対しても対象を拡充し、事業の継続・安定を支援するため、「八代市飲食店等緊急特別支援金（関連事業者）」を支給する経費について補正するもの。

- ◆補助件数：30万円×350事業所
- ◆申請期間 令和3年2月19日～令和3年3月26日
- ◆対象事業者 道路旅客運送業、飲食料品卸売業、飲食料品小売業、生花店、貸おしぼり業、旅行業、運転代行業、ごみ収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業
※売上減少率が30%以上の法人・個人

令和2年度3月補正予算

可決

一般会計

17億5,863万2千円

(主な事業を抜粋して掲載)

「国の3次補正予算」関連事業		国・県補助活用分	
・市内道路整備等関係事業	2億7,195万円	・生活交通確保維持事業	2億721万4千円
・八代港県営事業負担金事業	1億9,092万5千円	・障害福祉サービス給付事業	6,000万円
・県営土地改良事業負担金事業	1億2,040万6千円	市単独分	
・西片西宮線道路整備事業	9,493万4千円	・ふるさと納税関係経費	1億5,000万円

国の「地方創生臨時交付金」活用事業

新型コロナウイルス感染症対策事業（生活交通確保維持） 1,650万円

市民が日常的に利用しているタクシー及び市内と空港を結ぶ唯一の直結型路線である「すーぱーばんぺいゆ」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、現在も利用者の下振れ状態が続いているため、落ち込んだ利用需要が回復するよう、割引チケットの販売に係る経費について補正するもの。

【すーぱーばんぺいゆ利用補助】

・1運行当たり500円の割引 ・利用補助：500万円（500円×10,000枚）

【タクシー利用補助】・額面5千円のチケットを3千円で販売

・チケット補助：1,000万円（補助分2,000円×5,000セット）

・販売事務経費：150万円（チケット印刷代、振込手数料等）

令和3年度補正予算 一般会計 2,190万円

可決

生活交通確保維持事業（豪雨災害）

633万4千円

令和2年7月豪雨により運休している坂本地区の幹線交通について、産交バス等の運行が再開されるまで、生活移動を継続して支援するため、代替輸送を委託する経費を補正するもの。

・代替輸送運行委託：633万4千円（R3.4月～R3.6月分）

新型コロナウイルス感染症対策事業

◆コミュニティセンター感染防止対策

968万1千円

新型コロナウイルスワクチンの接種の開始により、今後、コミュニティセンターの利用増加が見込まれるため、施設を利用する市民に対し、より安全安心な施設環境を提供するための感染症対策に係る経費について補正するもの。

・消耗品費（無塩微酸性電解水）：492万2千円 ・超音波噴霧器賃借料：475万9千円

◆学校施設等感染防止対策

588万5千円

八代市立小・中・特別支援学校、幼稚園においては、感染拡大のリスク抑制を目的に随時換気を行っているが、より安全安心な学習・保育環境が確保できるよう換気と空調管理を徹底するため、CO₂モニターの購入経費を補正するもの。

・CO₂モニター購入費：588万5千円（500台分）

質

疑

一

般

質

問



議案に対する質疑と市政の各般にわたる一般質問は、3月9日から10日の2日間、7人が通告・登壇し、幅広い活発な議論が展開されました。主な質問のあらましと答弁の要旨は、次のとおりです。

令和3年3月定例会 質疑・一般質問一覧（通告順）

橋本 徳一郎 議員 (日本共産党)	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和2年7月豪雨災害からの復旧及び坂本町の復興まちづくりについて 2 新型コロナウイルス感染防止対策について 3 令和3年度当初予算について
村川 清則 議員 (自由民主党 礎)	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度当初予算について 2 新庁舎建設事業について 3 (仮称) 八代市国際交流協会について
太田 広則 議員 (公明党)	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルスワクチン接種事業について 2 八代市飲食店等緊急特別支援事業について 3 令和2年7月豪雨による麦島東町前川左岸堤防の一部損壊について
大倉 裕一 議員 (改革・市民の会)	<ol style="list-style-type: none"> 1 市長の政治姿勢について 2 新型コロナウイルス感染症に対する本市の予防対策について 3 令和2年7月豪雨に伴う治水対策について 4 教育行政について
亀田 英雄 議員 (改革・市民の会)	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和2年7月豪雨災害からの坂本町の復旧・復興について 2 新型コロナウイルス感染症対策に取り組む本市の体制について 3 令和3年度当初予算について
北園 武広 議員 (自由民主党 礎)	<ol style="list-style-type: none"> 1 本市におけるデジタル化推進事業について 2 スポーツを通じた地域振興について 3 令和3年度における観光振興に関する事業について
金子 昌平 議員 (自由民主党 絆)	<ol style="list-style-type: none"> 1 坂本町の復旧・復興について 2 令和3年度当初予算におけるICT教育関連事業について



橋本 徳一郎



◆令和二年七月豪雨災害からの復旧及び坂本町の復興まちづくりについて

問 第三回球磨川流域治水計画資料には坂本町において、引き堤・土地かさ上げ予定箇所が左岸十三箇所、右岸九箇所との記載があるが、計画について被災住民への具体的説明がなく、住宅再建に踏み切れないと語られる方が多い。詳細な治水計画や宅地移転、災害公営住宅などに使える防災集団移転促進事業や小規模住宅地区改良事業など被災者に有利な制度等を周知し、住宅再建を含めた復興まちづくり計画の説明・相談を地区別に行う予定について問う。

答 総務企画部長

防災集団移転促進事業や小規模住宅地区改良事業は被災地の再生事業として有効な手法だと考える。これらの事業では被災した従前の土地を売却することも可能で、代替地での住宅再建の資金とすることも可能である。このような事業の制度等を地域の皆様へ説明し地域の意見を踏まえ、坂本町復興まちづくり計画を策定していきたい。災害公営住宅の整備については、被災者の意向を把握しながら必要な戸数や住宅のタイプ、また、どのような地域に何戸を配置していくか等の計画づくりを進めていきたい。いずれも被災者や関係者の意見を伺いながら行う。



村川 清則



◆新庁舎建設事業について

問 現在、地上階の工事とC/LT工事が進められている新庁舎建設工事であるが、無事故での完成を望んでいるところである。それぞれの業務で費用の削減に努めてもられたと思うが、令和三年度一般会計当初予算には追加予算が計上されている。新庁舎建設工事の追加分七億四千八百万円の内容を伺う。さらに、現在コロナ禍にあり七月豪雨からの復旧・復興を抱える本市であるが、建設費の増額分の財源と、財政的な観点からの考え方について伺う。

答 建設部長・財務部長

当初予算で計上した追加予算は想定外の事案の発生によるもので、新型コロナウイルス感染症対策は、昨年の緊急事態宣言による一時的な工事中止などの経費である。地下水水質保全対策は、杭工事において、敷地内に存在する水源への影響を見ながら施工を実施したことによる経費である。地盤改良追加工事は、基礎掘削において巨大な流木等の撤去処分等に係る費用などである。労働者の安全確保や安定した水源確保を図る上で、増額は必要不可欠と認識しており、財源は災害復旧事業債及び合併特例債の交付税措置のある有利な市債と庁舎建設基金を活用する。



太田 広則



◆新型コロナウイルスワクチン接種事業について

問 本ワクチン接種事業の実施主体は市区町村であり、短期間に多くの市区町村民に接種するという前例のない事業であることから、本市執行部の負担は大きいものと考え、懸念をしている。また、市民にとってワクチン接種後の副反応など、相当な不安の中で始まる事業と考える。さらに、現在は接種後の副反応者の情報が日々刻々と変わる中、的確な情報提供も市民には必要である。そこで、本市の新型コロナウイルスワクチンの接種体制に対する市長の考えを伺う。

答 市長

新型コロナウイルス感染症は、いつ第四波がきてもおかしくない、予断を許さない状況が続いている。市民の皆様の命に関わるワクチン接種は、新型コロナウイルス収束に向けた、切り札として期待されている。そのため、市民の皆様が不安や心配なく接種いただけるよう、ワクチン接種に関する正確な情報提供を行うとともに、安全で、円滑かつ確実な接種に向けて、医師会や薬剤師会等の協力もお願いしながら、市全体を挙げて取り組んでいく。



大倉 裕一



◆市長の政治姿勢について

問 新庁舎建設工事の追加予算七億四千八百万円が計上されている。追加費用を聞いた時、唐突感と金額の大きさに驚いた。追加補正となった経緯とその理由を伺う。また、市長は、新庁舎建設工事の総事業費を実施計画に示された百六十二億八千万円と説明をされているが、部長の答弁で、事業費が百七十一億三千万円になるとあった。事業費が膨らむことに、市民に影響がないのかと心配の声が寄せられているが、総事業費が増えることへの思いを市長に伺う。

答 建設部長・市長

増額の主な項目は、新型コロナウイルス感染症対策、地下水水質保全対策及び地盤改良追加工事である。新型コロナウイルス感染症対策は、令和二年四月に発出された緊急事態宣言などにより、工事を一時中断した経費などである。地下水水質保全対策は、杭工事により、敷地内にある水源地への影響を観察しながら施工を行ったことによる経費である。地盤改良追加工事は、基礎掘削時出土した巨大な流木等の撤去処分などの費用である。

総事業費が増えたことについては、様々な削減を行いながら進めてきたが、想定外の事案の発生などにより、やむを得ないものと考えている。



亀田 英雄



◆令和二年七月豪雨災害からの坂本町の復旧・復興について

問 坂本町の豪雨災害からの生活再建に向けて、住宅・宅地の確保は大きな課題である。仮設住宅は原則二年間の限定であり、災害公営住宅の建設、代替宅地の造成、集団移転等、その他にも様々な要望もある中、高齢者は、住み慣れた土地を離れることにも大きな不安がある。発災後八か月が経過し、工事は着々と進んでいるものの、生活の再建は今からである。住民の関心の高い坂本町の治水対策について、市長の考えを伺う。

答 市長

球磨川の治水対策は、住民が住まいや生活の再建を検討されるうえで大変重要な課題である。地域住民の意見をしっかりと聴き取り、まずは三月六日に坂本町全体の説明会を開催した。その後、地区ごとの説明会を開催するよう計画している。そのうえで国・県とも緊密に連携し、地域の特性に応じた治水対策をスピード感をもって進める。災害からの復旧、創造的復興に向けては、私自身、全力で取り組んできた。今後も復興計画に基づき、地域の皆様の気持ちにしっかりと寄り添いながら、被災された方々をはじめ地域の皆様と一緒に復旧・復興に向けて取り組む。



北園 武広



◆本市におけるデジタル化推進事業について

問 令和三年度当初予算のデジタルトランスフォーメーション関連の新規事業として、デジタル化推進事業が予算化されているが、なぜデジタル化が必要なのか、その必要性と捉え方、及び事業の概要と目的について伺う。また、市長の提案理由説明の中に、先端技術を市民生活のあらゆる面で活用し、スマートシティを推進するところがあるが、スマートシティやつしろをどのように実現するか、本市におけるデジタル社会に向けた取組の方向性について伺う。

答 総務企画部長

本市では、国が強力に推し進めている社会全体のデジタルトランスフォーメーションの動きにあわせ、持続可能な魅力ある、選ばれるまちづくりを進めていくため、先般、デジタル社会の実現に向けた八代市基本方針を策定した。ICT等の先端技術を活用し、地域課題の解決とサービスの効率化・高度化を図り、安全・安心で、持続的に発展するまち、スマートシティやつしろをを目指す。取組の方向性として、一点目、地域課題の解決、二点目、デジタル技術の活用による行政サービスの革新、三点目に協働と連携によるデジタル社会の実現を掲げ、持続性・実効性のある事業・取組を行っていく。



金子 昌平



◆坂本町の復旧・復興について

問 市長は、現在、坂本町の創造的復興の実現のため、地域内の課題に対し、常に関心を持ち、孤立しやすい立場にある住民に寄り添われている。さらに、諸課題解決に向けた取組を官民一体となり、国・県とも連携し粘り強く前進されている。本議員としても、創造的復興の実現に向け引き続き御尽力いただきたいと考える。そこで、復興実現のためこれまで多くの協議を重ねる中において、坂本町の創造的復興に対する市長の思いを伺う。

答 市長

発災以来、坂本町へ足を運び被災状況を目の当たりにし、原形復旧となる災害復旧にとどまることがなく、地域振興につながる創造的復興が必要であるとの思いを強くした。坂本町の皆様の将来に向けた不安を少しでも早く解消するため、地元の皆様のご意見を拝聴しながらスピード感を持って取り組み、三月二日、復興計画を公表できた。三回目の地域懇談会では、参加者お一人お一人に復興にかける思いを語っていただいた。私に託されたその思いが復興へ向けての大きな原動力となつている。この思いを胸に今後も精一杯、坂本町の復興に取り組んで参りたい。

委員長報告

経済企業委員会

付託されました予算案八件、条例案五件及び事件三件については次のとおりです。

- ・ 議案第一号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十六号（関係分）
- ・ 議案第三号・令和二年度八代市簡易水道事業会計補正予算・第五号
- ・ 議案第五号・令和三年度八代市一般会計予算（関係分）
- ・ 議案第十三号・令和三年度八代市久連子財産区特別会計予算
- ・ 議案第十四号・令和三年度八代市椎原財産区別会計予算
- ・ 議案第十五号・令和三年度八代市水道事業会計予算
- ・ 議案第十六号・令和三年度八代市簡易水道事業会計予算
- ・ 議案第四十一号・八代市民俗伝統芸能伝承館条例の制定について
- ・ 議案第四十二号・八代市日本遺産活用推進基金条例の制定について
- ・ 議案第四十三号・八代市スポーツ振興基金条例の制定について
- ・ 議案第四十四号・八代市森林環境譲与税基金条例の制定について
- ・ 議案第四十五号・八代市簡易水道事業給水条例の一部改正について
- ・ 議案第四十六号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十七号（関係分）

の十三件については、慎重に審査した結果、全会一致で、原案のとおり可決しました。次に、

- ・ 議案第十八号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十三号（関係分）に係る専決処分報告及びその承認について
 - ・ 議案第二十号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十五号（関係分）に係る専決処分の報告及びその承認について
 - ・ 議案第二十三号・公の施設を長期かつ独占的に利用させることについて
- の三件については、慎重に審査した結果、全会一致で、承認及び可決しました。

文教福祉委員会

付託されました予算案八件、条例案八件及び事件一件については次のとおりです。

- ・ 議案第一号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十六号（関係分）
- ・ 議案第二号・令和二年度八代市国民健康保険特別会計補正予算・第四号
- ・ 議案第五号・令和三年度八代市一般会計予算（関係分）
- ・ 議案第六号・令和三年度八代市国民健康保険特別会計予算
- ・ 議案第七号・令和三年度八代市後期高齢者医療特別会計予算
- ・ 議案第八号・令和三年度八代市介護保険特別会計予算
- ・ 議案第十二号・令和三年度八代市診療所特別会計予算
- ・ 議案第三十三号・八代市介護保険条例の一部改正について
- ・ 議案第三十四号・八代市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

・議案第三十五号・八代市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の全部改正について

・議案第三十六号・八代市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の全部改正について

・議案第三十七号・八代市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の全部改正について

・議案第三十八号・八代市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の全部改正について

・議案第三十九号・八代市国民健康保険条例の一部改正について

・議案第四十号・坂田道男・道太文庫基金条例の一部改正について

・議案第四十七号・令和三年度八代市一般会計補正予算・第一号（関係分）

の十六件については、慎重に審査した結果、全会一致で、原案のとおり可決しました。

次に、
・議案第十九号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十四号（関係分）に係る専決処分の報告及びその承認について

の一件については、慎重に審査した結果、全会一致で、承認しました。

建設環境委員会

付託されました予算案六件、条例案五件については次のとおりです。

・議案第一号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十六号（関係分）

・議案第四号・令和二年度八代市下水道事業会計

補正予算・第三号

・議案第五号・令和三年度八代市一般会計予算（関係分）

・議案第九号・令和三年度八代市農業集落排水処理施設事業特別会計予算

・議案第十号・令和三年度八代市公共浄化槽等整備推進事業特別会計予算

・議案第十七号・令和三年度八代市下水道事業会計予算

・議案第二十八号・八代市空家等の適正な管理に関する条例の制定について

・議案第二十九号・八代市手数料条例の一部改正について

・議案第三十号・八代市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について

・議案第三十一号・八代市浄化槽条例等の一部改正について

・議案第三十二号・八代市宅地分譲審査委員会条例の制定について

の十一件については、慎重に審査した結果、全会一致で、原案のとおり可決しました。

総務委員会

付託されました予算案五件、条例案五件及び事件五件については次のとおりです。

・議案第一号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十六号（関係分）

・議案第五号・令和三年度八代市一般会計予算（関係分）

・議案第十一号・令和三年度八代市ケーブルテレビ事業特別会計予算

・議案第二十四号・八代市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

・議案第二十五号・八代市行財政改革推進委員会条例の一部改正について

・議案第二十六号・八代市行政財産使用料条例の一部改正について

・議案第二十七号・八代市コミュニティセンター条例の一部改正について

・議案第四十六号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十七号（関係分）

・議案第四十七号・令和三年度八代市一般会計補正予算・第一号（関係分）

・議案第四十九号・八代市長等の給与に関する条例の一部改正について

の十件については、慎重に審査した結果、全会一致で、原案のとおり可決しました。

次に、
・議案第十八号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十三号（関係分）に係る専決処分の報告及びその承認について

・議案第十九号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十四号（関係分）に係る専決処分の報告及びその承認について

・議案第二十号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十五号（関係分）に係る専決処分の報告及びその承認について

・議案第二十一号・新市建設計画の変更について

・議案第二十二号・財産の貸付けについて

の五件については、慎重に審査した結果、全会一致で、承認及び可決しました。

議会運営委員会

付託されました条例案一件については次のとおりです。

・議案第四十八号・八代市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正について

の一件については、慎重に審査した結果、全会一致で、原案のとおり可決しました。

令和3年3月定例会採決結果

[全会一致で可決した議案]

議案番号	議案名
議案第1号	令和2年度八代市一般会計補正予算・第16号
議案第2号	令和2年度八代市国民健康保険特別会計補正予算・第4号
議案第3号	令和2年度八代市簡易水道事業会計補正予算・第5号
議案第4号	令和2年度八代市下水道事業会計補正予算・第3号
議案第5号	令和3年度八代市一般会計予算
議案第6号	令和3年度八代市国民健康保険特別会計予算
議案第7号	令和3年度八代市後期高齢者医療特別会計予算
議案第8号	令和3年度八代市介護保険特別会計予算
議案第9号	令和3年度八代市農業集落排水処理施設事業特別会計予算
議案第10号	令和3年度八代市公共浄化槽等整備推進事業特別会計予算
議案第11号	令和3年度八代市ケーブルテレビ事業特別会計予算
議案第12号	令和3年度八代市診療所特別会計予算
議案第13号	令和3年度八代市久連子財産区特別会計予算
議案第14号	令和3年度八代市椎原財産区特別会計予算
議案第15号	令和3年度八代市水道事業会計予算
議案第16号	令和3年度八代市簡易水道事業会計予算
議案第17号	令和3年度八代市下水道事業会計予算
議案第18号	専決処分の報告及びその承認について（令和2年度八代市一般会計補正予算・第13号）
議案第19号	専決処分の報告及びその承認について（令和2年度八代市一般会計補正予算・第14号）
議案第20号	専決処分の報告及びその承認について（令和2年度八代市一般会計補正予算・第15号）
議案第21号	新市建設計画の変更について
議案第22号	財産の貸付けについて
議案第23号	公の施設を長期かつ独占的に利用させることについて
議案第24号	八代市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
議案第25号	八代市行財政改革推進委員会条例の一部改正について
議案第26号	八代市行政財産使用料条例の一部改正について
議案第27号	八代市コミュニティセンター条例の一部改正について

議案番号	議案名
議案第28号	八代市空家等の適正な管理に関する条例の制定について
議案第29号	八代市手数料条例の一部改正について
議案第30号	八代市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について
議案第31号	八代市浄化槽条例等の一部改正について
議案第32号	八代市宅地分譲審査委員会条例の制定について
議案第33号	八代市介護保険条例の一部改正について
議案第34号	八代市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
議案第35号	八代市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の全部改正について
議案第36号	八代市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の全部改正について
議案第37号	八代市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の全部改正について
議案第38号	八代市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の全部改正について
議案第39号	八代市国民健康保険条例の一部改正について
議案第40号	坂田道男・道太文庫基金条例の一部改正について
議案第41号	八代市民俗伝統芸能伝承館条例の制定について
議案第42号	八代市日本遺産活用推進基金条例の制定について
議案第43号	八代市スポーツ振興基金条例の制定について
議案第44号	八代市森林環境譲与税基金条例の制定について
議案第45号	八代市簡易水道事業給水条例の一部改正について
議案第46号	令和2年度八代市一般会計補正予算・第17号
議案第47号	令和3年度八代市一般会計補正予算・第1号
議案第48号	八代市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正について
議案第49号	八代市長等の給与に関する条例の一部改正について
議案第50号	教育長の任命につき同意を求めることについて
発議案第1号	八代市議会委員会条例の一部を改正する条例案
発議案第2号	八代市議会会議規則の一部を改正する規則案
発議案第3号	新型コロナウイルスワクチンの安定的な供給及び接種の円滑な実施を求める意見書案

議員発議

◎令和3年3月議会において、議員発議による条例及び規則改正案各1件が提出され、原案のとおり可決しました。

◆八代市議会委員会条例の一部を改正する条例案

（改正の主旨）執行機関の機構改革に伴う常任委員会の所管部課名等の改正

◆八代市議会会議規則の一部を改正する規則案

（改正の主旨）「欠席の届出」及び「押印」に関する適正化・見直し

◎令和3年3月議会において、議員発議による意見書1件が提出され、全会一致で原案のとおり可決されました。なお、本意見書は、国及び政府へ送付いたしました。

◆新型コロナウイルスワクチンの安定的な供給及び接種の円滑な実施を求める意見書案

まちのうごき



高田コミュニティセンター落成式

令和3年3月30日、高田コミュニティセンターで、同センターの落成式が開催され、市議会からは、議長、総務委員長、建設環境委員長、地元選出の議員が参列しました。

同センターの旧施設は、昭和48年に高田公民館として建設され、老朽化とともに熊本地震の影響もあり、平成28年度に施設の改築が決定されました。

今回完成した同センターは、八代地域が世界に誇る特産品「晩白柚」をイメージした外観と相まって、今後は、まちづくり活動の拠点、さらには避難所としての防災機能を強化した新施設として活躍が期待されています。

泉町のお茶が収穫のシーズンを迎えました

4月中旬、泉町の茶園では、1番茶の収穫シーズンを迎えました。

泉町の茶栽培は、江戸時代から脈々と受け継がれたもので、泉町の豊かな自然と山深い霧の中で育まれた茶葉は、香りが高いことで有名です。

近年は、泉町のお茶の生産振興と消費拡大による茶農家の経営安定を目的に「缶入り緑茶」及び「ペットボトル入り緑茶」が発売され、幅広い年齢層に親しまれています。



▲泉町の茶畑の新芽（令和3年4月7日撮影）

編集後記

草木の緑映える過ごしやす
い季節となりましたが、市民の皆様におかれましては、未だ新型コロナウイルス感染症の影響により、ご苦労されている日々が続いていることと拝察いたします。

このような状況下、本市におきましては各業種に対する経済支援や感染予防に際し、新型コロナウイルスワクチン接種対策室の設置など、あらゆる施策が先行実施されました。また、令和二年七月豪雨災害に対しては、八代市坂本町復興計画が策定されました。

議会といたしましたも市民の皆様が、安全・安心な生活を送ることができるよう行政とともに取り組んでまいりますので、今後とも宜しく願いたします。

八代市議会広報委員会

◎本紙に関する御意見・御要望はこちらまで TEL 32-5984・FAX 33-4440
市役所ホームページアドレス <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/>

